

令和3年度京都府公立大学法人若手研究者・地域未来づくり支援事業研究成果報告書

	(所 属)	(職名・学年)	(氏 名)
研究者 (研究代表者)	京都府立大学大学院 公共政策学研究科	博士後期課程 3 回生	松岡悠和
研究の名称	近代日本社会教育思想における宗教的感化の系譜		
研究の キーワード	社会教育、宗教教育、教育思想史、感化		
研究の概要	<p>本研究は、近代日本の社会教育思想における「宗教的感化」の系譜の探究を目的とした。人間形成作用のひとつとして感化に着目し、日本独自に発達した社会教育における理念的特徴の解明を目指した。</p> <p>社会教育行政官僚の乗杉嘉寿（1878～1947年）、川本宇之介（1888～1960年）及び宗教家の佐藤範雄（1856～1942年）の思想を取り上げて、社会教育の方法として宗教による感化がいかに位置づけられたか考察を加えた。具体的には、学校教育批判論、思想善導論、教育行政論の枠組みからそれぞれ検討することができた。</p>		
研究の背景	<p>政教分離を原則とする近代国家は、学校教育を宗教から分離するのが通例である。しかし、社会教育すなわち学校以外の教育活動はその限りでなかった。民衆の文化・精神と密接に結びつく宗教は、社会教育を整備していく上で重要な位置を占めたと考えられた。</p> <p>そこで本研究は、戦前社会教育思想において宗教をめぐる言説がいかなる系譜で現れてきたか明らかにすることを通して、日本の社会教育の特徴を解明することとした。従来の研究では、戦前日本の社会教育と宗教が密接な関係にあったという指摘自体は繰り返さされている一方で、その具体的内実については未解明の部分が多い。具体的に論者を取り上げて、その思想の中で宗教の位置づけ、特にその教育作用である感化に着目して検討することにより、社会教育と宗教の関係の一面を明らかにすることとした。</p>		
研究手法	<p>社会教育思想における「宗教的感化」の系譜を明らかにするために、次の三者を取り上げて、その言説を分析対象とした。1人目は、1919年に設置される文部省普通学務局第四課の課長となった乗杉嘉寿（1878～1947年）である。2人目は、乗杉の下で第四課調査係長として就任した川本宇之介（1888～1960年）である。3人目は、教派神道・金光教の幹部であった佐藤範雄（1856～1942年）である。三者の社会教育思想のなかで宗教の位置及び感化作用がいかに表れて系譜を形成していたか検討した。</p>		

<p>研究の成果</p>	<p>本研究では、乗杉嘉寿、川本宇之介、佐藤範雄の3人の社会教育思想を対象に、「宗教的感化」をキーワードとして分析することにより、戦前社会教育思想の特徴について考察することができた。具体的には、学校教育批判論、思想善導論、教育行政論の枠組みからそれぞれ検討し、次の通り社会教育思想の性格を明らかにした。</p> <p>第一に、従来の学校教育における知識偏重、教授中心の教育方法への批判論として、宗教的感化が社会教育の重要な要素に位置づけられたことである。特にヘルバルト教授法の限界が意識されていたことが社会教育の必要性をもたらし、教育者の態度による「薫染感化」が重視されていた。</p> <p>第二に、思想問題への対処及び天皇制理念の普及という教育内容において、社会教育の必要が考えられ、宗教の効能が模索されたことである。1912年の「三教会同」以降、一般宗教団体が天皇制理念に沿った国民教化に協力する体制が築かれつつあり、社会教育への宗教協力が要請された。</p> <p>第三に、宗教利用の方針と並立する形で、教育行政としての宗教からの独立性も重視されたことである。その背景には、宗教が一応は天皇制理念に奉仕する形をとったものの、依然として対立する可能性を抱えている危険性、そして民間慈善事業に委ねずに教育行政として実施する責任の自覚があった。</p>
<p>今後の期待</p>	<p>本研究では、教育作用としての感化に着目して、社会教育思想における宗教の位置を検討した。今後、このテーマを発展させていく上では、政教関係としての教育と宗教の関係について考察を進める必要がある。展望として、社会教育行政における宗教との関係性は、政策目的のために宗教家を動員するという宗教利用論によって説明されるのではないかと考えられる。今後は思想に加えて、政策及び実践の側面からも研究に取り組んでいく。</p>
<p>研究発表</p>	<p>(口頭発表) 松岡悠和「戦間期社会教育論における宗教の位置づけ—文部官僚は宗教に何を期待したのか?—」日本社会教育学会第68回研究大会、2021年9月10日 松岡悠和「戦前社会教育行政における宗教利用論の展開—『感化』概念に着目して—」福祉社会フォーラム2021第2弾、2022年1月27日</p>